

和紙の里 ひおき

発行 令和7年3月25日
日置地区まちづくり協議会
鳥取市青谷町山根218
電話 0857-86-0836
FAX 0857-86-0837
Eメール cc-hioki@it.city.tottori.tottori.jp
題字 棚田 大さん

41号

最終号

年度始めに向けて

会長 房安 薫

早いもので、今年も3か月過ぎようとしています。年齢を重ねるごとに、月日の経過を早く感じるようになりました。寒い冬も終わり、いよいよ暖かな季節を迎えようとしています。

我が国では、1年の区切り方を「年」と「年度」で使い分けています。3月は年度最後の月となり、いよいよ令和6年度が終わり、4月から令和7年度に入っていきます。

日置地区としても大きく変わっていく年となります。これまでは、まち協と公民館が共催の形を入れながらも、別々に諸行事を実行してきました。しかし地区の現状を考えたとき、少子高齢化の中で、それぞれ別々に諸行事に取り組むには無理が生じるのではないかとの思いがあり、組織の一本化ができるなら、そのほうがより組みやすくなり、多くの方々にも協力してもらいやすくなるのではと考えました。

そこで、以前から市が推奨している一括交付金制度を導入することとしました。新しい組織図のもと各専門部会(4部会)の準備を進め、新年度を迎えようとしています。

初めから順調に進むとは思いませんが、少しずつ、一歩ずつ、より良い活動ができるように取り組んでいきたいと思っておりますので、地区民の皆様の今後より一層のご支援とご協力をお願いいたします。

今後の予定

4月18日(金) 城北・日置グラウンドゴルフ交流会

※令和7年度は、日置から城北に向向きます。

5月 8日(木) まちづくり協議会総会

※総会までに、各部会(防災環境部会、健康福祉部会、にぎわいづくり部会、公民館事業部会)と役員会を開催します。(期日未定)

6月28日(土) 令和7年度日置地区敬老会 於 山紫苑

お知らせ

平成20年11月に日置地区まちづくり協議会が設立され、7年経過した平成28年2月に「和紙の里ひおき」の創刊号が発刊されました。それから9年、本紙41号で最終号を迎えることとなりました。次号からは、公民館が発行してきた「公民館だより」と「ようこそ」と合体し一本になった新生まち協の広報誌(名称未定)が毎月発行となります。これからもご愛読よろしくお願いいたします。



環境部会

部会長 棚田 潤一

日置地区の皆様には、この一年間春、夏、秋の環境整備作業並びに3月の日置川清掃作業に加え、資源回収および回収コンテナ周辺の維持管理にご協力いただきありがとうございました。環境整備作業においては毎回50人を超える多くの皆様にご参加いただき厚くお礼申し上げます。

来年度は「新日置地区まちづくり協議会」として公民館運営と一体化した組織改編により防災環境部会へと移行されます。

新たな体制のもと今年度と同様な活動に加え、新たな環境への取り組みも検討されておりますので、来年度におきましても引き続き住み良い地域づくりに向けて、地域の皆様の参加協力をいただくなかで、環境整備活動の活性化が図られることを祈念しております。

3月9日 日置川清掃

田畑に真っ白な霜のおりた早朝1時間、4集落から総勢76名の方に河川清掃にご協力いただきました。お疲れさまでした。



小畑



回収ごみの集積



山根



早牛

資源回収にご協力ありがとうございました!

<令和6年度実績>

・古紙回収収益金(売上金) : 19,150kg × @ 1円 = 19,150円	} 合計31,643円 →まち協会計へ繰り入れ
・アルミ缶回収収益金(売上金): 375.5kg × @30円 = 11,265円	
・鳥取市再資源化等推進事業奨励金 : <アルミ缶> 1,228円	
・ " : <古紙> 122,220円	→青谷小中学校PTAに寄付

特産品部会

部会長 塩 とみ子

今年度1年間日置地区の皆さんには大変お世話になりました。
特に夏の納涼祭、秋の収穫祭のひおき市にはたくさんの皆様にご参加いただき盛会のうちに終わりました。そのほか、こんにやく芋の植え付け、個人でのこんにやく芋の植え付け等お世話になりましたが、去年はあいにくの天気模様で、こんにやく芋もあまり成長をせず、中には消えてしまうものもありました。自然相手でなかなか苦戦しますが、今年の種芋は確保できていますので又皆様のご協力をお願いいたします。

手作りみそについては、せっかくおいしいみそができるノウハウがあるわけですから、地域の皆さんに喜んで参加していただけるような方法を模索していきたいと思えます。

今年度、地域の皆さんに大変お世話になりました、来年度もよろしく
お願いいたします。



防災部会

部会長 長谷川 具章

2月下旬に岩手県大船渡市で大規模な山林火災が発生しました。焼失面積は約2.6平方km、市の面積の8%にのぼっているとのこと。春は全国的に火災が発生しやすい季節ですし、3月1日から7日間、春季全国火災予防運動が実施されています。春の山林火災は、強風と異常なまでの乾燥により、火が風にあおられ勢いを強める傾向にあります。日置地区でも、この時期の住宅火災と山林火災は記憶に新しいところです。

さて、今年度の防災部事業は、5月12日(日)の春の環境整備終了後に、部会の皆さんで各集落20個ずつ計80個の耐久性土のう(黒色)を作りました。日置グランド南端の日置防災倉庫に備蓄してあります。何時でも土のうを作れるように土のう袋、スコップ、一輪車を常備しています。大雨等のいざという時にはご活用をお願いします。なお使用の際には備えつけの使用簿の記入と事務局への一報をお願いします。

9月15日(日)には日置総合防災訓練が実施されました。昨年を大幅に上回る78名の皆さんに参加いただき、火災通報避難訓練、防災リーダーによる防災研修と非常食(アルファ化米)の試食体験、可搬ポンプを使用した放水消火訓練が行われました。防災リーダー、自衛消防、第五分団、日赤奉仕団、そして関係者の皆さんにはお世話になりました。

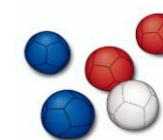
全国的に豪雨、連続猛暑日、豪雪、地震、山地火災などが頻発化していますが、防災は日々の備えが大切です。地域の皆さんのご理解と参画を得て、各集落の自主防災会の連携の強化と、防災の訓練・講習の実施などにより、地域の防災力を高めて行きましょう。



福祉部会

部会長 中宇地 節雄

健康づくりに取り組む



福祉部会は今年度も、日置地区のみなさんが住み慣れたこの地域で、いつまでも元気に暮らし続けていただくため、健康寿命を延ばすことを目指して取り組みをすすめてきました。

6月15日には、健康づくり講座を開きました。理学療法士の岡本沙紀さんを講師に迎え「元気なカラダは元気な細胞から」と題するお話しに、33人の参加者が熱心に耳を傾けました。

7月27日には合同ラジオ体操を実施。サマーキッズに参加していた親子連れを含めて49人が集いました。

例年3月に行っていた健康づくりウォーキングを今年度は10月19日に開催しました。当日は雨天のため日置地区体育館で、39人の参加者がポッチャとモルックを楽しみました。初めてという人もいましたが、すぐに慣れて熱戦が繰り広げられました。

4月以降は新たに発足する「健康福祉部会」で健康づくりに取り組む予定です。



令和6年度に購入したまち協物品



ノートパソコン



ホワイトボード



タープテント小(2×2m) 3基



デジタルカメラ



ブリスラベラー